

様式第七

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の変更許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第 16 条第 1 項 } { 第 35 条第 1 項 } の規定により、 変更の許可を申請します。 〇〇年 〇月 〇〇日 宮崎県知事 殿 申請者 氏名 〇〇 〇〇				※手数料欄			
1	工 事 主 住 所 氏 名 (法人役員住所氏名)		宮崎県〇〇市〇丁目〇〇 〇〇株式会社 〇〇 〇〇 (〇〇県〇〇市〇丁目〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇)				
2	設 計 者 住 所 氏 名		〇〇県〇〇市〇丁目〇〇 株式会社△△ △△ △△				
3	工 事 施 行 者 住 所 氏 名		〇〇県〇〇市〇丁目〇〇 株式会社◇◇ ◇◇ ◇◇				
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)		〇〇市〇〇町〇〇番地〇 (緯度：△△度△△分△△秒、経度：△△度△△分△△秒)				
5	土地の面積		987.54 平方メートル				
6	工事着手前の土地利用状況		農地				
7	工事完了後の土地利用		宅地 (住宅建築あり)				
8	盛土のタイプ		平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土				
9	土地の地形		溪流等への該当 有・無				
10 工 事 の 概 要	イ	盛土又は切土の高さ	3.25 メートル				
	ロ	盛土又は切土をする 土地の面積	876.54 平方メートル				
	ハ	盛土又は切土の土量	盛土	1876.54 立方メートル			
			切土	10.30 立方メートル			
	ニ	擁壁	番号	構造	高さ	延長	
			1	ブロック積み	1.45 メートル	12.71 メートル	
			2	プレキャスト L 型	1.75 メートル	14.07 メートル	
	ホ	崖面崩壊防止施設	番号	種類	高さ	延長	
			該当なし				
	ヘ	排水施設	番号	種類	内法寸法	延長	
			1	L 型側溝	30 センチメートル	54.32 メートル	
			2	集水桝	30 センチメートル	3 箇所	
3			雨水桝	30 センチメートル	3 箇所		
ト	崖面の保護の方法	コンクリート造の擁壁で保護					
チ	崖面以外の地表面 の保護の方法	崖とは反対方向に排水勾配を設定					
リ	工事中の危害防止 のための措置	・工事区域内にバリケード設置 ・工事車両について、ガードマンを配置し交通整理					
ヌ	その他の措置	なし					
ル	工事着手予定年月日	〇〇年 〇月 〇〇日					
ヲ	工事完了予定年月日	〇〇年 〇月 〇〇日					
ワ	工程の概要						
11	その他必要な事項		農地法第 5 条第 1 項許可申請中, 砂防指定地内行為許可申請中				
12	変更の理由		盛土の面積、土量変更および工程の変更のため。				
13	許可番号		第 〇〇〇〇 号				
※受付欄		※決裁欄		※許可に当たって付した条件		※許可番号欄	
年 月 日						年 月 日	
第 号						第 号	
係員氏名						係員氏名	

・工事の請負契約の注文者または請負契約によらないで、自らその工事をする者を記載

・資格を有する者の記載によらないければならない
工事を含む場合には、〇印を付し、資格を有することを証する書類を申請書に添付

・工事の請負人または請負契約によらないで、自らその工事を施行する者を記載

・申請地内の土地について、地番までそのすべてを記載
・申請地を工区に分けたときは、工区別工区内の土地について、地番までそのすべてを記載 (記載欄に記載できない場合は、別紙に記載)
・代表地点の緯度経度は、申請地の中心地点を基本とし、位置を正確に表すため、秒については小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までを記載

・許可申請に関与のある土地の総面積であって、盛土、切土を行わずに道路、法面等を含む
・申請地を工区に分けたときは、工区別面積を記載

・次の分類から選択 (複数選択可)。
(1) 平地盛土：勾配 1/10 以下の平坦地において行われる盛土で、谷埋め盛土に該当しないもの
(2) 腹付き盛土：勾配 1/10 超の傾斜地盛土において行われる盛土で、谷埋め盛土に該当しないもの
(3) 谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土

・「溪流等」として定める土地は次の該当するものの
(1) 山間部における、河川の流水が継続して存する土地
(2) 山間部における、地形、草木の生茂の状況その他の状況が前号の土地に類する状況を呈している土地
(3) (1)、(2) の土地及びその周辺の土地の地形から想定される集水地域において、雨水その他の地表水が集中し、又は地下水が湧出するおそれの大きい土地
・「溪流等」の範囲とは、溪床 10 度以上の勾配を呈し、0 次谷を含む一連の谷地形であり、その底部の中心線からの距離が 25m 以内の範囲

・対象規模の盛土、切土又は盛土と切土を同時に行う場合に該当する最大高さを記載。最大高さは、現況地盤面と造成後の地盤面の差が最も大きくなる箇所を記入。

・許可申請の対象となる土地の面積、即ち、盛土、切土をする土地の面積であって、手数料の額を判定する面積

・工程表を添付

・他法令による許認可の状況をすべて記入。